

朝日岳山行記録



イブリ山で豚汁



小野健さんの乾杯



朝日岳山頂で

目的地	朝日岳（イブリ山～朝日小屋）	期 日	平成20年10月11～12日（土・日）
山行人	笠原正雄・ヒロタン・tamo・恵理子・梓	特 記	朝日小屋閉め前日の飲み放題に誘われて。

地 点 名	時 刻	記 事
10日		
与 板 発	午後 7:00	7:30 石動Pでヒロタンと待ち合わせ。彼の車で小川温泉へ。走行 160km超。
小 川 温 泉	9:45 着	先に温泉館に到着していたtamoさんと会う。我々はヒロタンと2人で廃道となったスノーシエッド下で小宴会。車中泊。夜半から雨となる。
11日		
起 床	5:50	小雨。良く眠れた。昨日つめたランチジャーで朝食。
小 川 温 泉	7:00 発	tamoさんの口利きで、5人で一緒に地元の方の車2台に載せて貰い、ゲートを開錠通過。昨年まで小屋関係者であれば県外車も通したが、今年はダメになった。
北 股 小 屋	7:30～8:00	食堂、宿泊可能な建物。富山No.の車が十数台有り。お茶をご馳走になり、準備する。地元の方々数隊とほぼ同時に5人で歩き出す。車道に下り、ダムを見ながらコンクリート階段を降り、鉄製吊橋を渡り、山道に入る。弱雨、雨具上下歩行。
1 合 目 休 憩	8:25	この手前で着ていた雨具上衣のみを脱ぎ、長袖シャツ一枚になる。
2 合 目	8:50	940m。合目標識はイブリ山までの物。以後見やすい所に標高も記されている。
5 合 目 休 憩	9:45～10:00	1300m。雨は殆どあがって、雨ズボンも脱ぐ。水あり5分とある。数隊と前後する。明日から梅海新道縦走と云う隊もやって来た。歩き出すと、曇りの空から薄日が差す気配を感じるが、やや風が出て来た。
少し寒くなる	10:20	ヒロタンのザック中のビールに穴が空き、腰辺りが濡れて来た。あわててそれを取り出し飲んでいる。立ち止まった所で、半袖シャツを重ね着し、手袋も着ける。
8 合 目	10:45	1630m。ガスが掛かっているが、徐々に紅葉が良くなって来た。
10 合 目 イブリ山頂	11:15～12:00	1791m。先着数人が居た。ヒロタンが先行到着して豚汁を作り始めていた。間もなく、一番降って欲しくないところで雨となる。雨具を着なおす。かなり強くなって来た。傘を差しながらの調理となる。具材の殆どが無農薬自家栽培だそうで、旨かった。雨で背中が痛いほどの降りの中、ウイスキー水割りとオイナリさん。後半雨足が緩んで来た。続々と上山者がやって来る。歩き出す頃には雨が上った。
木 道 で 休 む	午後 1:05	朝日岳 1km⇄イブリ山 2kmの道標を過ぎた湿原の様な所で立ち休み。
朝 日 小 屋	13:30	霧と小雨、展望全く無し、テント 2張。濡れた物をストーブのそばに吊るす。
一階大蓮華の間		小屋女主人清水ゆかりさんに関わりのある者の部室を使わせて貰う。ウイスキーと小屋から頂いたビールで飲み始める。外の寒暖計は3℃。
夕 食	5:00～6:45	宿泊者全員が食堂に会し、さわがに山岳会の小野健さんの発声で乾杯。飲み物はすべて小屋の提供。大鉢で焼き岩魚酒を回し飲む。女主人に「朝日小屋は山にしてはご馳走があり過ぎる」と申し上げたが、彼女なりのポリシーがあるようだ。
就 寝	8:30 過ぎ	部屋に戻り、暫らくして横になったが、ヒロタンに起こされて再飲。
12日		
朝 食	6:00	最終組で朝食。早い者は既に歩き出して行く。梅海山荘へ向かう小野健さんの隊も出発して行く。寒暖計は2℃だったが、夜中は氷点下になったようだ。周囲の水溜りの表面が凍っていた。
ラ ジ オ 体 操	6:30	若いスタッフと一緒に小屋前で体操。第2体操は大部分忘れていた。
朝 日 小 屋 発	7:30	小屋常連の奈良のイチバと云う年配男と同時に 6人で山頂へ。木道は霜が降りていて滑る。道脇の草に霧氷、段差にツララ。早朝登頂者が下って来る。
朝 日 岳 山 頂	8:15～8:30	剣岳がひとときわ目立つ。海岸も、頸城三山もしっかり見える。朝日岳頂は4度目だが、一番の好展望に出会えた。もう一泊のイチバはアヤマ平を、tamoさん達3人は黒岩平を目指すと言って先へ降りて行った。俺とヒロタンは小屋へ戻る。

下山へ	9:30	小屋に戻り、ビールを買って飲む。昨日と違って上天気。ドラム缶上の雨水が氷った。それを半円で取り出して頭上に掲げて若者スタッフが遊んでいる。歩き始めるとすぐに6時北股小屋歩き出しと言う上山単独男とスライド。
紅葉広がる	9:50	イブリ山との中間点、対する斜面の紅葉がきれいだ。
イブリ山	10:20~10:40	ベンチに腰を下ろしゆっくり過ごす。ヒロタンのザックにはまだビールがあった。下り始めれば、本日最終日に泊まる方々が賑やかに登って来た。
5合目	11:25~11:40	朝日小屋発は、我々が最後であったが、ここで先行下山隊に追いつく。みそ汁やら、かまぼこやらをご馳走になった。彼らに先立って歩き出す。途中で更に昨日車に乗せてもらった方々を追い越す。ヒロタンは意図あって高速で下って行く。
北股小屋	12:35	吊り橋を渡ってから階段登り、車道歩きで小屋まで約5分かかる。小屋には、昨晚、朝日小屋で一緒だった人々が居た。先に到着したヒロタンは飲んでいる。自販機で500ml 缶を買う。残ったつまみ・味噌漬けで一杯。
小川温泉へ		暫らく小屋の下屋のテーブルベンチで待って、昨日と同じ方々に乗せて貰って車道を下る。小川温泉入浴 (500円)。
帰宅	7:05	3時頃、国道8号に出た所でたら汁を食す。高速を使わずに進み能生の「かにや横丁」でカニを買う。上越から高速道。柏崎から災害復旧工事一車線規制でノロノロ通行となる。石動Pでヒロタンと別れて帰宅する。早速カニで一杯。

tamoさんは朝日小屋の小屋開きに参加したり、娘さんのマリコさんがアルバイトをするなど、女主人とは友人付き合いをしている。一方、昨年この小屋閉め前の飲み放題に参加したヒロタンから誘いを受けた。そこでtamoさんのもう一人の娘さんであるエリコさんとその友人アズサさんとの5人での山行となった。

これまで、朝日岳に登ったのは、いずれも蓮華温泉が起点である。小川温泉からのルートは、北股小屋までの移動が難点だ。歩けば3時間、タクシーを使えば9,200円と出費が大きくなる。今回はtamoさんの計らいで、そこまで地元の方の車に同乗させて貰った。北股小屋からならば、蓮華温泉からのどのルートよりもコースは安全で時間も短い。

初日は天気予報も良くなかったが、昼食時の強い雨を除けば、それ程苦にはならなかった。そして翌日は絶好の天候となり、山の景色と紅葉を十分に楽しむことが出来た。